

学力向上の効果的な取組

【八潮市教育委員会】

1 教科、学年 全教科（主に算数科を柱として）、全学年

2 ねらい

児童の学習習慣を確立し、家庭との連携を深めることで、学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

3 取組内容

(1) 日々の学習を充実させる

日々の学習（授業）を大切にすることは、学力の定着を図る第一歩である。学習の決まりを全校で統一し、共通理解のもとで実践を行っている。

①課題とまとめを明確にした板書



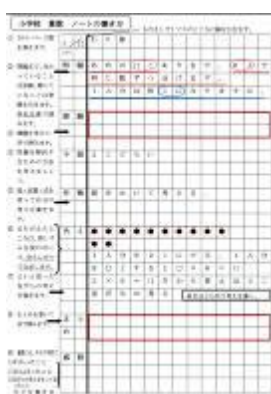
【中学年 国語】



【高学年 算数】

どの教科においても「課題」と「まとめ」が必ず残る板書を、全教員が心がけている。

②ノート指導の充実

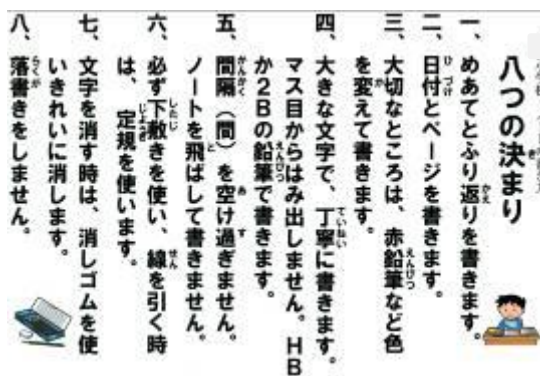


【ノートの書き方 教師用（左） 児童用（右）】



【ノート名人の掲示】

③学習規律の徹底

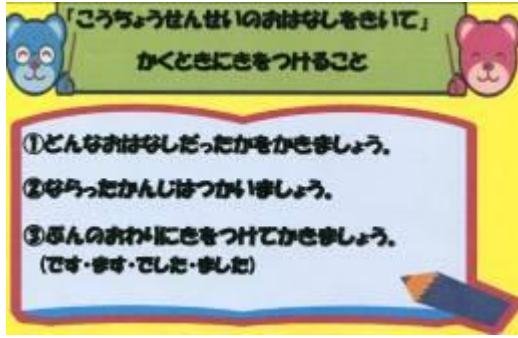


【ノートの書き方8つのきまり】

【発表のしかた】

(2) 学習の生活化を図る

①「聴く」指導の徹底



【低学年用】

【中学年】	内容
書き方	聞いたことをおととぎずに書きます。自分の感想や考えを書きます。文の終わりに気をつけて書きます。「～です、～でした」「～です、～ました」
構成	はじめ、中、終わりで書きます。校長先生がお話していた順番で書きます。習った漢字を使って書きます。
その他	
【高学年】	内容
書き方	聞いたことをおととぎずに書きます。自分の感想や考えを書きます。文の終わりに気をつけて書きます。「～です、～ました」「～です、～ました」感想や意見、考えも区別して書きます。
構成	はじめ、中、終わりで書きます。校長先生がお話していた順番で書きます。
その他	習った漢字を使って書きます。文章を読み返し、間違いを修正します。

【高学年用】

全校朝会における校長先生の話を作文で書かせている。

書き方（決まり）が守られている児童の作文は廊下等に掲示をしている。

②家庭学習強化週間の設定



小中一貫ブロック校で期日を統一（今年は中学校の期末試験前）し、宿題および自主家庭学習を意識させた。保護者の確認印の枠をつくり、家庭への啓発を図った。

③その他



反復練習が必要な学習は、掲示物を工夫したり、校長先生の試験（九九検定、読み方検定）を実施したりして、意欲的に取り組めるようにした。

(3) 各種勉強会の実施（児童・教員）



【長期休業中の算数教室・昼休みの算数クリニック】



【ワークショップ型協議】

4 成果と課題

- 板書・ノート・学習規律を全校（及び小中一貫ブロック校）で統一して取り組むことで子どもたちの学ぶ姿勢に落ち着きが見られるようになってきた。
- 学校の授業だけでなく、家庭学習や生活の中に「学習」を意識させたことで、子どもたちの学習への意欲や関心が高まっただけでなく、保護者の意識も高まってきた。